

岩国ひがし学園 東中学校 校長室だより (第62号)



# ひこばえ

令和4年(2022年)3月15日

菜の花や 月は東に  
日は西に



作 与謝 蕪村

春寒も緩みはじめ、ようやく過ごしやすい気候となってまいりました。保護者・地域の皆様におかれましては、益々ご健勝のこととお喜び申し上げます。桜前線が北上を始め、岩国市は3月25日頃に開花する予想です。楽しみです。

さて、先日、卒業証書授与式を終え、9年生を送り出したのもつかの間、明日は9年生の公立高校の合格発表です。全員合格を祈るばかりです。一方、在校生は、今年度の登校もあと7日。やり残しが無いよう日々充実させてほしいものです。

## 第75回卒業証書授与式



3月10日(木)、令和3年度第75回卒業証書授与式を挙行了しました。コロナ禍、今年度も式次第の一部カットや人数制限など、感染症対策を講じて行いました。しかしながら、冒頭の卒業証書授与における呼名に対する返事からすばらしいスタートを切り、在校生の態度のよさが雰囲気をつくり、涙を誘う送辞・答辞、圧巻だった卒業生の合唱など、とても感動的な式典になりました。そんな式を写真とともに、振り返ってみます。

### 【8:55 卒業生入場】

担任の先生を先頭に、クラスごと2列で入場です。ゆっくりと、3年間の思い出を、時間をかけて振り返っているかのように。胸のコサージュは、今年も育友会から贈られました。

会場は、生徒の凛とした態度により、厳粛な空気で包まれました。

### 【9:15 卒業証書授与】

お世話になった担任の先生の呼名に対し、はきはきと大きな返事で応えてくれました。さて、NO.1は誰? いえ、皆がすばらしい返事でした。卒業証書は未来へのパスポート。そして、仲間と過ごした3年間の様々な思いが刻み込まれています。

### 【9:48 在校生送辞】

8年生佐川くんが、目標であり、憧れだった先輩への思いを精一杯表現し、伝えてくれました。9年生は、様々な行事や活動で在校生を導き、支えてくれていたのですね。まさに岩国ひがし学園の生徒のゴールの姿だったのです。

### 【9:56 卒業生答辞】

9年生金田さんが、3年間共に過ごした友への思い、学年の先生方への感謝の思いを、心を込めて表現してくれました。多くの先生方が涙し、まさに授与式のクライマックスでした。

3年間の名場面が走馬燈のようによみがえってきました。

### 【10:25 卒業生の歌 友 ~旅立ちの時~】

これまで育ててくれたご家族の皆様、先生方、地域の方々、そして、後輩たちへ、感謝の気持ちを込めて中学校生活最後の合唱を披露してくれました。さすが、「全クラス金賞の実力」です。

〜 同じ空の下 どこかで僕たちは いつも繋がっている



## 【11:00 最後の学活】

卒業式での感動の涙が乾くまもなく、教室で最後の学活です。担任の先生からあらためて一人ひとりに卒業証書が手渡されました。

「3年間よく頑張ったね。成長したね。さあ、輝く未来へ、勇気を翼に込めて 希望の風に乗れ この広い大空に 夢を託して〜。」



さあ、来年は8年生、再来年は7年生です。たくさんのものを残してくれた9年生に、「追いつけ、追い越せ！」です。岩国ひがし学園の命運は、みなさんにかかっています。

## 連絡橋の名前決定！



昨年末に募集した、校舎と北グラウンドを結ぶ連絡橋（9月開通）の名前を募集したところ、児童生徒からたくさんの応募がありました。いろいろな名前を考えてくれてありがとうございました。その後、東小・中教職員や学校運営協議会委員で選考し、過日決定しました。

名前は、“**さくら橋**”です。屋根に桜の花びら型の穴がデザインされており、また、道路を見下ろすと桜の木が植えられていますのでピッタリですね。親しみやすい名前です。

さっそく表彰したかったのですが、“**さくら橋**”と書いてくれた児童生徒は40名以上でしたので、個人表彰はやめて、最も多くの方が“**さくら橋**”と書いてくれた、1の1と2の2のクラスを団体表彰することにしました。

今後、様々なお便りや掲示でお知らせします。“**さくら橋**”は地域の皆様も利用できます。お近くに来られたら、どうぞお渡りください。

なお、右下の写真は、夜景です。ライトアップされていますので、夜間も通行できます。東地区の素敵な、インスタ映えするスポットとなっています。



## 後期学校評価結果

過日、後期学校評価結果（冊子）をお返ししました。後期生徒アンケート・保護者アンケート、そして、一部教職員アンケートの結果と、前期を比較したものです。

ポイントが伸びて改善傾向にあるものがある一方、伸び悩んでいるものや下がっているものについては、今後改善策を進めて参ります。学校運営協議会委員のご意見やご助言をいただいていますので、取り入れていきたいと思えます。

学校評価の目的は、①学校運営上の課題解決を図る ②説明責任を果たす ③保護者・地域住民とのコミュニケーションを図る ④教育の質の保証と向上を図る があります。

これからも、保護者や地域住民などから学校に寄せられる期待に応え、「信頼される学校づくり」を進めます。また、学校評価を通して学校に関わる人々との双方向の情報のやりとりをし、連携を図ることにより、「開かれた学校づくり」を推進します。

## 交通事故に注意！

先週、アリーナ下の駐車場に入ろうとした車が、直進してきた原動機付きバイクと衝突する事故がありました。

新校舎になってこの付近では2件目です。

原因はわかりませんが、信号との兼ね合いでスピードを落とさずに進む車も多いため、注意が必要です。道幅も広めになっていますのでなおさらです。

とにかく、前後左右を注視され、入るときも出るときも気を付けてください。（要徐行）

もちろん、駐車場内でも、下校時は生徒の自転車が動きますので要注意です。



【一度は読んでいただきたいお話】

～ ご家族でぜひお読みください!! ～



## 負ける練習



このひこばえ通信の発行が今年度で19年目になりました。教諭、教頭、校長時代それぞれで定期的に発行してきました。先日、昔の記事を見る機会がありました。そこで紹介した詩をあらためて掲載します。それが、相田みつをさんの作品「負ける練習」です。

近年、この負ける練習、すなわち、失敗しない生徒・失敗を恐れてやろうとしない生徒が増えているように感じます。これはわれわれ親側も反省すべきことだと思います。

### 「負ける練習」

相田みつを

柔道の基本は受身  
受身とは投げ飛ばされる練習  
人の前で叩きつけられる練習  
人の前でころぶ練習  
人の前で負ける練習です。

つまり、人の前で失敗をしたり  
恥をさらす練習です。

自分のカッコの悪さを多くの人前で  
ぶざまにさらけ出す練習  
それが受身です。

柔道の基本では  
カッコよく勝つことを教えない  
素直にころぶことを教える  
いさぎよく負けることを教える

長い人生には  
カッコよく勝つことよりも  
ぶざまに負けたり  
だらしなく恥をさらすことのほうが

はるかに多いからです。

だから柔道では 始めに負け方を教える  
しかも、本腰を入れて 負けることを教える  
その代り  
ころんでもすぐ起き上がる

負けてもすぐ立ち直る  
それが受身の極意  
極意が身につけば達人だ

右上へ



若者よ 失敗を気にするな  
負けるときにはさらりと負けるがいい  
口惜しいときには「こんちくしょう!!」  
と、正直に叫ぶがいい  
弁解なんか一切するな  
泣きたいときには 思いきり泣くがいい  
やせ我慢などすることはない

その代り  
スカッとして泣いて ケロリと止めるんだ  
早くから勝つことを覚えるな  
負けることをうんと学べ  
恥をさらすことにうまくなれ  
そして下積みや下働きの  
苦しみをたっぷり体験することだ  
体験したものは身につく  
身についたもの— それはほんものだ

若者よ  
頭と体のやわらかいうちに  
受身をうんと習っておけ  
受身さえ身につけておけば  
何回失敗しても  
すぐ立ち直ることができるから.....

そして  
負け方や受身の ほんとうに身についた人間が  
世の中の悲しみや苦しみに耐えて  
ひと（他人）の胸の痛みを  
心の底から理解できる  
やさしい暖かい人間になれるんです。

そういう悲しみに耐えた  
暖かいところの人間のことを  
観音さま、仏さま、と 呼ぶんです。

# 忘れてはいけない 東日本大震災

東日本大震災は、2011年3月11日14時46分頃に発生。三陸沖の宮城県牡鹿半島の東南東130km付近で、深さ約24kmを震源とする地震でした。マグニチュード(M)は、1952年のカムチャッカ地震と同じ9.0。これは、日本国内観測史上最大規模、世界でも4番目の規模の地震でした。この大震災では、岩手、宮城、福島県を中心とした太平洋沿岸部を巨大な津波が襲いました。

死者・行方不明者は合わせて、18,425人でした。行方不明者はいまだに2000人以上おられます。

各地を襲った津波の高さは、福島県相馬では9.3m以上、岩手県宮古で8.5m以上、大船渡で8.0m以上、宮城県石巻市鮎川で7.6m以上などが観測(気象庁検潮所)されたほか、宮城県女川漁港で14.8mの津波痕跡も確認(港湾空港技術研究所)されています。また、遡上高(陸地の斜面を駆け上がった津波の高さ)では、全国津波合同調査グループによると、国内観測史上最大となる40.5mが観測されました。

最も深刻な問題としては、福島第一原子力発電所を津波が襲い、すべての電源を失い、炉心溶解(メルトダウン)を引き起こしたことです。 ※私たちはこのような自然災害に備えなければいけません。



## 3月～4月 行事予定



日	曜	3月後半の行事	日	曜	4月前半の行事など
16	水	公立高校合格発表 ※部活動中止日	1	金	
17	木		2	土	
18	金	祝 東小卒業証書授与式	3	日	
19	土		4	月	
20	日		5	火	職員会議など ※部活動中止日
21	月	祝 春分の日	6	水	職員会議など ※部活動中止日
22	火	一日入学(小6) 学校運営協議会18～	7	木	学年会議、新学期準備など
23	水	クラスマッチ(7年) ※部活動中止日	8	金	着任式、始業式 入学式準備
24	木	クラスマッチ(8年)	9	土	
25	金	修了式	10	日	
26	土	教員人事異動新聞発表	11	月	小中合同入学式13:30～
27	日		12	火	新入生歓迎会
28	月		13	水	※部活動中止日
29	火		14	木	
30	水	離任式14:30～ ※東小は13:30～	15	金	
31	木		16	土	岩国地区春季大会①
～ 3月が去(さ)っていきました! ～			17	日	岩国地区春季大会②
			18	月	家庭訪問①

※ 短縮時程や部活動中止などで下校時刻が早まる日がありますが、別途お知らせします。